

週間感染症情報

2022年5~8週 2022年1月31日より2022年2月27日まで

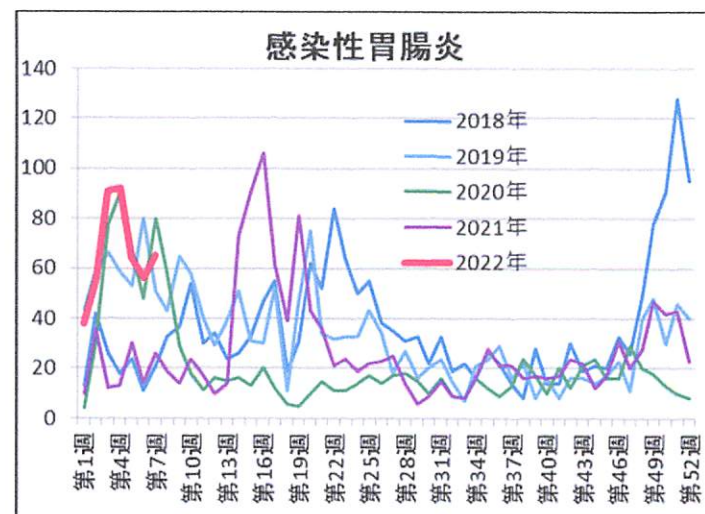
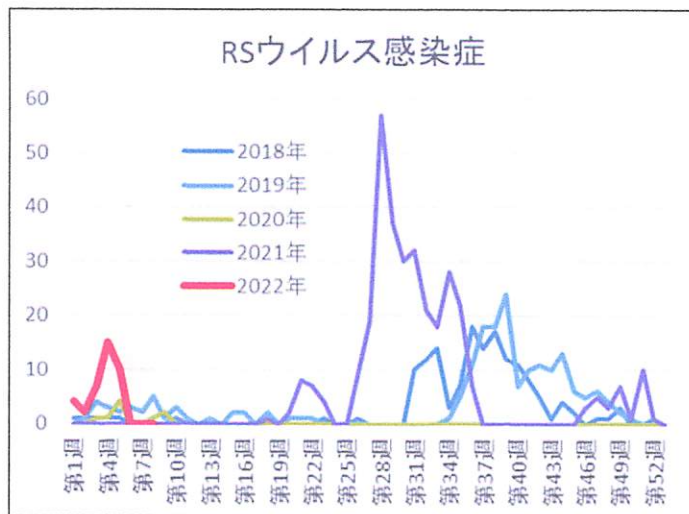
5週 6週 7週 8週

麻疹				
風疹				
水痘(みずぼうそう)				
ムンプス(おたふくかぜ)		1		
百日咳				
溶連菌感染症	1			
手足口病				
ヘルパンギーナ				
伝染性紅斑				
感染性胃腸炎	64	56	65	55
ロタウイルス(再掲)				
便アデノウイルス(再掲)				
突発性発疹	2	1	1	
伝染性膿痂疹(とびひ)	1	1		1
ヘルペス性口内炎				1
アデノウイルス感染症			2	
RSウイルス感染症	10			
マイコプラズマ感染症				
ヒトメタニューモウイルス				
新型コロナウイルス感染症	75	46	33	34
インフルエンザ A				
インフルエンザ B				

報告が遅くなりました。5~8週の4週間の報告です。感染症は少ないです。インフルエンザの報告はありません。また、RSウイルス感染症の報告も6週以後ありませんでしたが、今週(9週)になり、市内の保育園でRSウイルス検査で陽性例が出ています。左下のグラフのように、この時期には報告は少ないのですが、例年とは異なります。また、春先にはヒトメタニューモウイルスの報告が増えるのですが、2020年17週以後は報告がありません。RSウイルス感染症の例もあり、今後注意が必要です。

感染性胃腸炎の報告は続いています。嘔吐を主とするノロウイルスによるものと思われる症例や、嘔吐はなくて下痢が長引く症例など、複数のウイルスによると思われる。アルコール消毒は効果がありませんが、吐物の処理、手洗いなど、感染対策の効果があり、施設内での大規模な流行は少なくなっています。

新型コロナウイルス感染症の報告はピークを越えたようです。先週より発熱外来への電話相談も少なくなっておりPCR検査の陽性率も下がっています。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)